

HDS021-P04

会場:コンベンションホール

時間: 5月24日17:15-18:45

2009年7月防府市豪雨災害において花崗岩斜面に発生した土石流と斜面崩壊の特徴

Characteristics of debris flow and slope failure on granite slope caused by heavy rainfall on July 2009 in Hofu city

若月 強^{1*}, 石澤岳昂², 植竹政樹³, 川田真也³

Tsuyoshi Wakatsuki^{1*}, Takeaki Ishizawa², Masaki Uetake³, Shinya Kawada³

¹防災科学技術研究所, ²筑波大学, ³防災科研・外来研究員 (東京消防庁)

¹NIED, ²University of Tsukuba, ³Tokyo Fire Department

平成21年7月中国・九州北部豪雨災害により山口県防府市では、花崗岩を基盤岩とする山地斜面において土石流や斜面崩壊が多発し、下流域の住民に多大な被害を与えた。地形計測によると、流域面積が大きいほど、土石流が流域外まで到達しやすいことが明らかになった。また、現地調査から、ほとんどの土石流の源頭部には表層崩壊地が存在しており、表層崩壊の崩土が土石流化して、流路の堆積物を巻き込みながら流下していることがわかった。表層崩壊地の土層は砂質（マサ）で薄く、その下部には弱風化の基盤岩が存在しており、またパイプが存在する場合もあることから、地中水が集中して崩壊が発生しやすい土層構造であったと考えられる。

キーワード:花崗岩,土石流,斜面崩壊,流域面積

Keywords: granite, slope failure, debris flow, drainage area